

AYA がん支援活動に関する調査(施設対象)

質問の中で思春期・若年成人（Adolescent and Young Adult, AYA）とは「15 歳以上 39 歳以下」の世代を指します。この調査はがん診療施設での AYA 世代がん支援の実態を把握することを目的としています。2019 年 8 月末日までに同封の封筒にて返信ください。

1 施設について（平成 31 年 5 月 1 日現在の状況をお教えてください）

- 1.1 施設名称：（ ）
- 1.2 施設種別：1.大学病院 2.総合病院 3.がん専門病院 4.小児病院
5. その他（ ）
- 1.3 がん診療に関する施設認定状況：（該当するものすべてに○）
- 1.国指定都道府県がん診療連携拠点病院（全国 50 病院）
 - 2.国指定地域がん診療連携拠点病院（全国 325 病院）
 - 3.国指定特定領域がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院（全国 37 病院）
 - 4.国指定小児がん拠点病院・小児がん中央病院（全国 15 病院）
 - 5.都道府県独自のがん診療施設の指定を受けている
 - 6.都道府県独自の小児がん診療施設の指定を受けている
 - 7.がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療連携病院（全国 167 病院）
 - 8.特に指定を受けていない
 - 9.その他（ ）
- 1.4 日本専門医制評価認定機構「基本領域」（内科、外科、小児科、産婦人科など）
研修の受け入れ：
1.あり（領域： ） 2.なし
- 1.5 がん専門医療研修施設認定：（該当するものすべてに○）
- 1.日本臨床腫瘍学会認定研修施設
 - 2.日本がん治療認定医機構認定研修施設
 - 3.日本血液学会認定研修施設
 - 4.日本造血細胞移植学会認定移植施設
 - 5.日本婦人科腫瘍学会指定修練施設
 - 6.日本脳神経外科学会施設認定
 - 7.日本乳癌学会
 - 8.日本頭頸部がん専門医認定研修施設
 - 9.日本泌尿器科学会専門医教育施設
 - 10.日本整形外科学会認定施設
 - 11.日本小児血液・がん学会専門医認定研修施設
 - 12.日本甲状腺学会認定専門医施設
 - 13.日本産婦人科学会 ART 登録施設
 - 14.その他
（ ）
- 1.6 臨床倫理支援部門：

- 1.あり 2.なし

2 専門職（平成 31 年 5 月 1 日現在の状況をお教えてください）

2.1 専門医などの配置（該当するものすべてに○）

- 1.日本血液学会 専門医
- 2.日本整形外科学会 専門医
- 3.日本脳神経外科学会 専門医
- 4.日本泌尿器科学会 専門医
- 5.日本乳癌学会乳腺 専門医
- 6.日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医
- 7.日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 8.日本造血細胞移植学会 認定医
- 9.日本婦人科腫瘍学会婦人科 腫瘍専門医
- 10.日本頭頸部外科学会 頭頸部がん専門医
- 11.日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科指導専門医
- 12.日本消化器外科学会 消化器がん外科
- 13.日本緩和医療学会 緩和医療専門医
- 14.日本小児血液・がん学会 専門医
- 15.日本医学放射線学会 放射線診断専門医
- 16.日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会 放射線治療専門医
- 17.日本生殖医療学会専門医
- 18.日本サイコオンコロジー学会認定登録精神腫瘍医

2.2 専門資格保有者の配置（該当するものすべてに○）

- 1.日本看護協会専門看護師・認定看護師
 - 1-1 がん看護専門看護師
 - 1-2 小児看護専門看護師
 - 1-3 がん化学療法 認定看護師
 - 1-4 がん性疼痛 認定看護師
 - 1-5 緩和ケア認定看護師
 - 1-6 乳がん 認定看護師
 - 1-7 がん放射線療法 認定看護師
- 2.日本医療薬学会がん専門薬剤師
- 3.日本病院薬剤師会がん専門薬剤師
- 4.日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師
- 5.理学療法士（PT）
- 6.作業療法士(OT)
- 7.言語療法士(ST)
- 8.臨床心理士
- 9.社会福祉士
- 10.精神保健福祉士
- 11.保育士
- 12.チャイルドライフスペシャリスト(CLS)、ホスピタルプレイスペシャリス(HPS)、子ども療養支援士

3 貴院の AYA がん患者診療状況

3.1 2018 年（1 月–12 月）に貴施設で「初回治療を開始した」がん診療数
がん診療連携拠点年次現況調査にある「院内がん登録数：入院・外来を問わな
い自施設初回治療分：症例区分 2 および 3」に該当する患者数（現況調査登録
数）

総登録数：() 人

3.2 このうち、AYA 世代患者（15 歳以上、39 歳以下）の登録数：()
人

4 貴院の AYA 診療体制

4.1 新規の AYA 世代がん患者の診療科の振り分け（該当するもの 1 つに○）

- 1.年齢によって小児科で治療（
その場合の年齢（具体的に））
- 2.年齢によって小児科へコンサルトし、主となる診療科を決定
その場合の年齢（具体的に））
- 3.年齢によらず疾病によって関係診療科へコンサルトし、主となる診療科を決
定
その場合の疾病（具体的に））
その場合の関係診療科（具体的に））
- 4.その他（具体的に））

4.2 新規の AYA 世代がん患者の入院病棟：原則として（該当するもの 1 つに○）

- 1.年齢によって小児科病棟（具体的な年齢：））
- 2.年齢によって AYA 専門病棟（具体的な年齢：））
- 3.年齢と疾病によって AYA 専門病棟
（具体的な年齢と疾病：））
- 4.年齢によらず疾病によって入院病棟を決定
- 5.その他（具体的に））

4.3 病棟のアメニティ：AYA 世代への配慮・具体的なアメニティなど
（該当するもの すべてに○）

- 1.AYA 世代専用病棟
- 2.AYA 世代専用病室
- 3.AYA 世代がん患者だけが使える部屋
- 4.高校生を対象とした病院内特別支援教育（訪問教育を除く）
- 5.高校生を対象とした教育支援体制（訪問教育など）
（具体的
に））
- 6.AYA 世代へ配慮したプレイルーム
- 7.その他（具体的

に)

4.4 AYA 世代がん患者に診療科をまたいで、臨床試験の情報を共有していますか。
(該当する 1 つに○)

1. すべての臨床試験についてしている
2. 一部の臨床試験でしている
3. まったく共有されていない

4.5 貴院の AYA 世代がん患者の長期フォローアップ体制：

ここでの「長期フォローアップ」とは原病の経過観察だけではなく、治療によって起こりうる晩期合併症のリスク管理、早期発見と適切な対処のために長期にわたって行う診療のことを指します。

・長期フォローアップについて取り組んでいるものすべてに○をつけてください。

1. 長期フォローアップの専門外来（主体となる診療科：)
2. 患者向けの長期フォローアップ相談窓口
3. 医療者向けの長期フォローアップ相談窓口（院内）
4. 医療者向けの長期フォローアップ相談窓口（院外）
5. 院内または地域における長期フォローアップについての勉強会・研修会
6. がん治療のサマリー作成（実施している診療科：)
7. 患者向けの長期フォローアップ手帳（実施している診療科：)
8. 長期フォローアップのための院内コーディネーター
9. 長期フォローアップに関する研究
10. その他（具体的 に：)

・長期フォローアップ実施状況についてお聞かせください。

(①-③の項目のそれぞれ該当するもの 1 つに○をつけてください)

| | 実施状況と方法 |
|----------|--|
| ①原病の経過観察 | 1. 全例、 <u>自施設</u> で実施している 2. 診療科によって <u>自施設</u> で実施もしくは他施設へ紹介 自施設で実施する診療科 () 他施設へ紹介する診療科 () 3. 患者の自己管理に任せる（問題が生じた時に受診） 4. その他 () |

- ⑦脳外科 ⑧内分泌内科 ⑨泌尿器科 ⑩小児科 ⑪小児外科
⑫その他(具体的に)

5.3 活動状況を教えてください（該当するものすべてに○）

- 1.定例のミーティング 2.事例ごとの対応
3.その他（具体的
に：)

5.4 AYA チームの広報はどのようにしていますか（該当するものすべてに○）
院内の医療従事者に対して）

- 1.ポスター掲示 2.ホームページへ掲載 3.パンフレットの配布
4.院内カンファレンスや会議などで広報
5.特にしていない
6.その他（具体的に)

AYA 世代がん患者に対して）

- 1.ポスター掲示 2.ホームページへ掲載 3.パンフレットの配布
4.外来や入院時に担当する医師や看護師などから紹介
5.特にしていない
6.その他（具体的に)

5.5 AYA チームもしくはその他の部門で、院内の AYA 世代がん患者を拾い上げていますか（該当するもの1つに○）

- 1.全例できている 2.ほぼできている 3.半分くらいできている
→5.6 にお進みください
4.ほぼできていない 5.全くできていない →5.8 にお進みください

5.6 5.5 で（1-3）の「できている」と回答した方に伺います。どのように拾い上げていますか？（該当するものすべてに○）

1. 医事課が電子カルテから入院の AYA 世代がん患者を拾い上げて、チームや支援窓口_に報告している
2. 支援チームなどの担当者である医療従事者（医師、看護師、相談員など）が、
電子カルテを見て拾い上げている
3.その他
()

5.7 5.5 で（1-3）の「できている」と回答した方に伺います。拾い上げた後に、AYA 世代がん患者さんへの関わり方はどうされていますか（該当するものすべてに○）

1. 支援チームなどの担当者である医療従事者が、直接、患者に面談する
2. 現場のスタッフに働きかける
3. その他
()

- 5.8 院内の AYA 世代がん患者に対してニーズ（苦痛など）のスクリーニングを実施していますか（該当するもの 1 つに○）
- 1.全例できている
 - 2.ほぼしている
 - 3.半分くらいしている
 - 4.ほぼしていない
 - 5.全くしてない
- 5.9 ニーズ（苦痛など）のスクリーニングをしている場合、どのようにしていますか（該当するもの すべてに○）
- 1.AYA 世代がん患者専用のシートを使っている
 - 2.年齢に関係ないスクリーニングシートを使っている
 - 3.担当者が面接をしている
 - 4.その他（具体的
に：)
- 5.10 5.9 のニーズ（苦痛など）のスクリーニングによって抽出された AYA 世代がん患者は、院内の医療従事者から AYA 支援チームもしくはその他の支援部門に紹介されていますか（該当するもの 1 つに○）
- 1.紹介されている
 - 2.紹介されていない
 - 3.その他 ()

④AYA 世代に限定せず、年齢に関係なく開催している

⑤AYA 世代に限定せず全年齢が対象だが、がん種を限定している

（疾病

名：)

⑥その他

()

6. その他：頻度や対象も合わせてお教えてください

()

5.13 院内に AYA 世代がん患者に対応できる以下の支援はありますか。該当するもの
すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1.心理支援 | 他) |
| 2.がん生殖医療 | 10.ピアサポート |
| 3.就学（高校生、大学生等） | 11.患者サロン |
| 4.就労（新規就労を含む） | 12.外部の支援団体との連携 |
| 5.経済的問題への対処 | 13.栄養 |
| 6.家族支援（パートナー） | 14.運動 |
| 7.家族支援（子ども支援） | 15.アピアランスケア |
| 8.家族支援（親） | 16.その他 |
| 9.家族支援（その他 | （具体的に：) |

5.14 院内ではなくアウトソーシングやネットワーク利用で支援を行なっているもの
はどれですか。該当するものすべてに○をつけてください

- | | |
|----------------|----------------|
| 1.心理支援 | 10.ピアサポート |
| 2.がん生殖医療 | 11.患者サロン |
| 3.就学（高校生、大学生等） | 12.外部の支援団体との連携 |
| 4.就労（新規就労を含む） | 13.栄養 |
| 5.経済的問題への対処 | 14.運動 |
| 6.家族支援（パートナー） | 15.アピアランスケア |
| 7.家族支援（子ども支援） | 16.その他 |
| 8.家族支援（親） | （具体的 |
| 9.家族支援（その他 | に：) |
| 他) | |

6. 本研究班ではがんに罹患した AYA 世代の若者や家族のニーズにきめ細かな支援を提供できるよう、AYA 支援チームの養成や、地域のネットワークづくりのための教育プログラムを展開しております。本研究班および AYA のライフステージに応じたがん対策について、ご意見やご要望がありましたら、お聞かせください。